

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
13時53分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4301000000	農業委員会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00829	農業委員会事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10621	01	06	01	01	02	01	01	農業委員会事業（農業委員会費）
所属長	生田 清温			担当者（内線）桑原 直人（2897）					
根拠法令等	農業委員会等に関する法律、吹田市農業委員会事務局規程等								
事業開始年度	昭和26年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	農業委員会委員の選出方法の変更等								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	農業委員、農業委員会事務局職員		
目標	農業委員会の運営や農業委員活動等を効率的に行う。		
結果	農業委員会の法令等に関する所掌事務が厳正、適正に実施される。		
事業概要	農業者の代表機関として農地法およびその他関連法令に基づく事務事業		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,803	13,717	14,378	14,243	13,812
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	30,143	29,517	30,482	30,347	29,702
特定財源(C)	690	1,627	756	834	755
国	0	0	0	0	0
府	680	1,572	730	808	730
その他	10	55	26	26	25
市負担(D)	29,453	27,890	29,726	29,513	28,947
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,453	27,890	29,726	29,513	28,947
財源計(C+D)	30,143	29,517	30,482	30,347	29,702

所属	農業委員会事務局
事務事業番号	00829

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	農地法等法令事務の執行、農業委員会の開催及び農地パトロール、農事相談、委員研修、意見交換会の開催、農業者研修会、建議、意見の公表、学童農園事業等農業委員会事業計画の実施。	目標	業務の適正、円滑、効率的な実施。
成果内容	農地法等法令事務の適正な執行、農地の耕作指導等による農地の維持・保全、学童農園事業、営農環境への迅速な対応。	達成状況	ほぼ達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>都市農業の継続的な安定を図るとともに、多様な機能の適切かつ十分な発揮を通じて、良好な都市環境の景観の形成に資することを目的とし「都市農業振興基本法」が制定されました。</p> <p>今後、国が求められる基本施策として、「農産物供給の向上、担い手の育成・確保」「防災、良好な景観の形成」「学校教育における農作業の体験機会の充実」などが示されているなか、これらに対応する施策の推進が求められています。</p> <p>本市においては、すでにこの農地の多面的役割を認め、食育、環境、農業理解の観点から平成13年度に農業・教育連携協議会を立ち上げ、稲作体験を中心とした学童農園事業を実施しています。当初7校で始まったこの事業も平成29年度には20校で実施しました。</p> <p>以上から、本事業は重要性が高く、今後も継続していくべきと考えますが、事業費については他市の事業と比較・分析し、見直しを検討する必要があると考えます。</p>		

事務事業分析シート

所属名	農業委員会事務局	事業名	農業委員会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00829				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	75	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	農業委員会事務局	事務事業番号	00829
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

農地法や農業委員会等に関する法律が改正されることに伴い、その対応のための事務量が増加する一方であるが、事務改善などによる効率化等を図ることで、従事職員の減員に対応している。今後は、兼任体制の連携強化だけでなく、適切な人材配置と職員定数の設定を行い、事務の円滑化を図っていく必要がある。